

ナガエツルノゲイトウ 駆除マニュアル

令和5年3月
(令和7年3月改訂)

農林水産省
環境省
農業・食品産業技術総合研究機構

ナガエツルノゲイトウの概要

1

- ✓ ナガエツルノゲイトウは、南米原産の多年草で、主に水辺に生育する抽水～湿生植物です。
- ✓ 生態系や農業への悪影響のおそれがあり、「**特定外来生物**^{p7参照}」に指定されています。

特徴

- 【再生力 大】数cmの茎断片から容易に発根
- 【拡散力 大】茎は千切れやすく、水に浮く
- 【侵略性 大】乾燥に強く、畑地などにも侵入



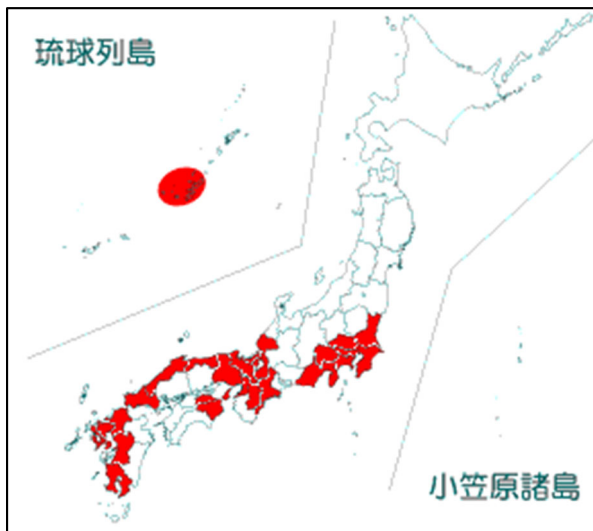
茎断片からの萌芽



陸上（道路際）に生育



ナガエツルノゲイトウが河道内で繁茂した状況



- 関東地方以西～南西諸島に分布（令和7年2月現在）
- 令和5年12月以降、愛媛県、福島県、岡山県、への侵入が確認（令和7年2月現在）
- 冷帯でも生息可能なため、日本全国に広がる可能性
- 現在、確認されていない自治体においても、今後確認される可能性

※ 必ずしも色が塗られた地域全体に分布するわけではありません。

出典：侵入生物データベース（国立研究開発法人 国立環境研究所、R7年2月時点のHP掲載情報）



水路を閉塞し、取水・排水の障害となる



排水機場のスクリーン周辺に溜まり目詰まり